

2014. 3.20

こんにちは わ ーど

No. 49

半田国際交流協会だより

2月9日

第2回 新美南吉英訳絵本 英語朗読コンテスト開催!

主催: 半田国際交流協会

後援: 半田市・半田市教育委員会・新美南吉顕彰会

協賛: 国際ソロプチミスト半田

半田国際交流協会では3冊の新美南吉英訳絵本を出版しました。子供たちが、これらの絵本で一層英語への興味を深め、新美南吉文学を世界の人々に紹介することで郷土愛を高めることを願い、第2回目の「新美南吉英訳絵本・英語朗読コンテスト」を開催しました。小学生39名・中学生14名の計53名の参加がありました。

最優秀賞

おめでとうございます!



【最優秀賞】

(小学1年～4年の部)

神谷紗良さん(亀崎小4年)

朗読した本:「手袋を買いに」

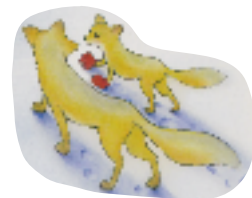


【最優秀賞】

(小学5年～中学3年の部)

市川 稜くん(雁宿小6年)

朗読した本:「手袋を買いに」



「帽子屋さんは子ぎつねの手だとわかったけれど黙って手袋を売ってくれたところ」がよかったです。英語の勉強は楽しそうだなと思って小学1年から始めました。今は国語が一番好きです。学校ではまだ英語の時間はないですが、たぶん英語も好きになると思います。将来は通訳か翻訳家になりたいです。人前で話す仕事もいいと思います。

去年4月にポーランドから帰国して、半年ほど英語を習っています。英語を忘れないためです。新美南吉の本が好きで、特に今回朗読した部分が好きなので、読んでみようと思いました。これからも英語の勉強は続けますが、将来はゲームクリエイターになりたいです。

受賞おめでとうございます!

【優秀賞】

久世真梨子(花園小1年)・佐伯すみれ(岩滑小1年)・磯部ひかり(雁宿小2年)
新美花怜(横川小6年)・加藤瑠菜(成岩中1年)・武市 輝(青山中1年)

【特別奨励賞】

半田市長奨励賞 — 市野祥太郎(成岩中2年)
教育委員会奨励賞 — 村瀬智穂(乙川中3年)
新美南吉記念館館長奨励賞 — 高橋旺煌(花園小1年)
国際ソロプチミスト半田奨励賞 — 榊原夕音(宮池小2年)

【奨励賞】

富永すずな(花園小3年)・榊原可子(乙川小4年)・澤田紗知(板山小4年)
武市紫音(花園小4年)・竹田将大(花園小4年)・富永ひまり(花園小5年)
六渡美和(花園小5年)・佐藤徹音(宮池小6年)・稲垣 海(成岩中2年)
新美玲央奈(乙川中3年)



半田市内小中学生対象の
“好きな南吉作品アンケート”
第1位は、「手袋を買いに」
でした～。

【作品別朗読者数】

「手袋を買いに」……………15人
「でんでんおしのかなしみ」…10人
「天国」……………7人
「木の祭り」……………6人
「ごんぎつね」……………5人
「赤いろうそく」……………5人
「子どものすきな神様」……………4人
「牛をつないだ樺の木」……………1人



"I'd like to have a pair of gloves that fits this hand, please," said the fox. The hatter was astonished to see the hand of a fox, and thought that the fox would be paying with the money made of a leaf. So he said, "Pay first, please." The fox gave the two nickels to the hatter. The hatter took the nickels, and rubbed them to see if they were metal. The two nickels gave out the sound of metal. With this he saw that the nickels were not leaves. Then he took a pair of woolen gloves from the shelf and gave it to the fox. The fox thanked him and began his trip home.

"Mom said that humans could be very cruel, but they weren't. The hatter didn't do anything, even when he saw my fox hand."



「このお手々にちょうどいい手袋ください。」

すると帽子屋さんは、おやおやと思いました。狐の手です。狐の手が手袋をくれというのは。これはきっと木の葉で買ってきたんだなと思いました。そこで、「先にお金をください。」といいました。子狐はすなおに、にぎってきた白銅貨を二つ帽子屋さんにわたしました。帽子屋さんはそれを人さし指のさきにつけて、カチ合わせてみると、チンチンとよい音がしましたので、これは木の葉じゃない、ほんとお金だと思いましたので、棚から子ども用の毛糸の手袋をとり出してきて子狐の手に持たせてやりました。子狐は、お礼をいってまた、もときた道を帰りはじめました。

「お母さんは、人間はおそろしいものだっておっしゃったがちつともおそろしくないや。だってほくの手をみててもどうもしなかったもの。」と思いました。

“Shopping for a Pair of Gloves”
「手袋を買いに」



新美南吉英訳絵本は、半田国際交流協会、
新美南吉記念館にて取り扱っています。



審査委員長 ホーランド萬里子さん（英語朗読法専門・元南山大学教授）のコメント

昨年の新美南吉生誕100年を記念する英訳絵本の英語朗読コンテスト第1回に引き続き、今年も第2回を開催できましたことをお喜び申し上げます。

昨年に比べて今年は人数が少なかったけれど、レベルが全体に高かったと思います。英語の発音、リズム、イントネーションなど、本当に皆さんがんばってよく表現できていたと思います。なかなか人前で朗読をすることは大変ですが、よく勉強して、声を出すことがしっかりできていました。どの賞をもらったかということよりも、みんなの前でどういう表現が出来たかが、大切です。英語はとても上手ですが、読むのが早すぎては、聞いている人にとってははっきりしないということになってしまいます。日ごろから、コンテストとか試験のために勉強するのではなく、言葉を勉強するときにはどのように表現したら良いか、どういう風に声を出したら良いか、それを皆さんにどう伝えたら良いかということをつつも考えてください。そうすると、声を出してコミュニケーションをするということが楽しくなるでしょう。私は、皆さんに心から期待をしています。

英語朗読コンテストを省みて — 継続することの意義 —

半田国際交流協会南吉作品英訳グループ 蜂須賀幸路

今年も53人の熱心な小・中学生の英語朗読を聞くことができました。どの参加者も素晴らしい出来栄で、きっと南吉先生も点数の付けようが無く、天国で嬉しい悲鳴をあげていたことと思います。

前回より参加者全員の英語が一段と上手くなったと思いますが、特に小学校低学年生のレベルが高くなったのは筆舌に尽し難いほどでした。こうしたチャンスを得て、矢勝川に咲き誇る彼岸花のように、子供たちが外国を訪れたとき、南吉作品を英語で披露して世界中に彼の作品を咲かせて欲しいと願っています。

「継続は力なり」の諺のように、十数年間、半田市の宝、南吉作品をこの地ばかりでなく世界に広めたいと英訳に取り組んできた果実が徐々に実ってきたと、手ごたえを感じました。無論、1～2年間でこのコンテストが多大な成果を収めたとは言えませんが、継続することの意義は大きかったと思います。

コンテスト開催に際して審査委員長を引き受けて下さいました元南山大学ホーランド萬里子教授はじめ審査委員の皆様、半田国際交流協会の皆様、半田市、南吉記念館、国際ソロプチミスト半田、ボランティアといった数え切れない人々の協力こそが成果を齎したことは言うまでもありません。南吉作品英訳グループ一同、心から感謝申し上げます。尚、このような英語プロジェクトが地域の英語教育の推進力の一端になれば幸いと継続を切望しております。

3月2日 第10回 インターナショナル ポトラックパーティ



▲お豆腐の蒲焼き



▲クイズはみんな真剣！

3月2日、恒例の「インターナショナル・ポトラックパーティ」が開催されました。ベトナム、カンボジア、インドネシア、フィリピン、ブラジル、ネパール、中国そして日本の計88名(外国人32名、日本人56名)が、各国の料理を囲みながら、ゲームやクイズ、歌などを通して交流を深めました。



ベトナム

生春巻き、揚げ春巻き、黄色いごはんなど多種のお料理。春巻きは、人参・春雨・卵・豚肉などを皮に巻き込んでつくりまします。ちょっとしたご馳走としてたべます。(アインさんほか数人)



カンボジア

スゴチュロサクモアン〜 玉ねぎ・キノコ・鶏肉などの入った透明なスープ。少し酸味がありさっぱり味。ご飯・スープ・炒め物が、日常の基本の食事で、スープの種類は多く、これはその一つ。(チャーイ ナットさん)



中国

年始などお祝いの日に作ります。焼き豚・人参・白ネギを五種の調味料で味付け、最後に香菜の香りを散らして。白いご飯によく合いそうな一品。(リュウ レイさん)



インドネシア

ガートガトー〜 プロッコリー・人参・カリフラワー・コーンなどを豆からできた調味料で味付け。主に結婚式で用意されます。日本人向けに辛さを抑えてあるらしいけれど・・・辛い！でも好きな人は癖になりそうです。(ヘレンさん)



みんな集合〜！
おなかいっぱい！



▲お琴とケーナのコラボレーション演奏



国際アカデミー in 半田

主催：半田青年会議所
協力：半田国際交流協会

①ホストファミリー ②英語通訳ボランティア 募集のお知らせ

半田国際交流協会 国際理解・交流推進委員会委員長
鈴木 雅貴

今年の7月4日～11日に、半田青年会議所が“国際アカデミー”を開催します。この事業は、世界約70か国からと、日本各地から70人の、総勢140人が集まり、リーダーシップ研修と相互理解を図る目的で行われます。

そこで、ホームステイの受け入れをしていただける70家庭を募集しています。また、そのセミナーのグループディスカッションに、ボランティアで英語通訳をしていただける方を募集しています。

ぜひこの機会に、様々な国の人たちと異文化交流をはかってみませんか？



▲2月19日に行われた半田青年会議所の“国際アカデミー”プレイベントの様子。

「国際の機会」を通じて、自分ができること、自分たちのまちづくりについて考える内容です。

半田国際交流協会の松石奉之会長と、会員でスリランカ出身のガジャナカ・カーンティさんもパネリストとして参加しました。



半田国際交流協会総会のご案内

日 時：平成26年5月8日（木）
18：00～

場 所：半田市福祉文化会館内（雁宿ホール）
2階 第3会議室

詳細は、半田国際交流協会事務局まで

日本語教室「さくら」開催中

無料

日 時：毎週日曜日 10：00～12：00
場 所：半田市福祉文化会館内（雁宿ホール）
対 象：大人の外国人
講 師：日本語ボランティアにより、個別またはレベル別にグループ指導を行います。

日本語教室「うさぎ」開催中

無料

日 時：毎週日曜日 10：00～12：00
場 所：半田市福祉文化会館内（雁宿ホール）
対 象：5歳から中学生までの外国人
講 師：日本語ボランティアにより、個別またはレベル別にグループ指導を行います。



ボランティアも随時募集中です！

半田国際交流協会にご入会ください！

会員募集

年会費	個人会員	2,000円
	団体会員	10,000円
	法人会員（1口 5,000円）	
	・従業員数 1名～29名	1口以上
	・従業員数 30名～49名	2口以上
	・従業員数 50名～	4口以上

申込先：半田国際交流協会（雁宿ホール内1階）
TEL：0569-26-1929 FAX：0569-26-1992
E-mail：hia@poplar.ocn.ne.jp
HP：http://www.handakokusai.aichi.jp



発行 / 半田国際交流協会 半田市雁宿町1-22-1
TEL：0569-26-1929 FAX：0569-26-1992